

## 「バラサイト」 …つまり寄生虫のことだ。

このページを開き、数々の写真が目に入っただけで、もう読む気が失せた人も少なからずいるだろう。でも今ここまで読んでくれているあなたは少なくとも興味をよせてくれているはず。気持ち悪いと思うだけではなく、興味を持つ人も多くいると信じていたい。そんな人は、是非この記事を最後まで読んで、寄生虫への好奇心を満足させて欲しい。

## 目黒寄生虫館について

俺はこの記事を書くために、目黒が誇る世界で唯一の寄生虫博物館に取材に行った。まずはその目黒寄生虫館のことを紹介しよう。創立されたのは一九五三年で医学博士の亀谷了氏の創意と私財投入によるもの。今とは違い、寄生虫はそこら中にいるようなものだったという。そこで寄生虫の研究をするために作られたのがこの寄生虫館である。

# PARASITE

## 「寄生虫」

俺は寄生虫は面白い生き物だと思つた。確かに見た目は気持ち悪いかもしれない。俺もその点は同意する。しかし寄生虫の興味深い点は、その生態にある。

「寄生」…その名のごとく、他の生物に寄生して栄養をもらいながら生きていく。住



▲マラリアを媒介するハマダラ蚊

蚊によって媒介され、人の赤血球に寄生する。発熱生伝染病の病原虫。古くから世界的に分布する。現在でも毎年二億人が発病し、二百万人が死亡するといわれている。現在、日本では輸入寄生虫病として重要視されている。

## フタゴムシ

幼虫の時に出会った相手と一体になり生涯を送る。一見、一匹の蝶のようだが、これは二匹のムシがくっついた状態。寄生虫館の創設者の亀谷了がライフワークとして研究した虫で寄生虫館のロゴマークにもなっている。



## 糸虫(サナダムシ)

日本海裂頭糸虫の幼虫はサケやマスの筋肉に寄生している。刺身など生のままで食べることによって人間に寄生する。腸の中で、十メートル近くまで成長して成虫になる。症状は軽く自覚しないことも多い。左の写真は全長八、八メートルある日本海裂頭糸虫。



## アニサキス

アニサキス症は日本でも年間千人を超える程の発生数の多い病気である。サバ、サケ、アジなどの魚介類の刺身から感染する病状は、食後数時間のうちに始まる激しい腹痛と嘔吐である。これはアニサキス幼虫が寄生のために胃壁に突きささったために生ずる症状である。人では成虫になれないのでいずれ死ぬか排出される。左の写真はアニサキス成虫の寄生したイルカの胃。



## その他

人の寄生虫だけで百種以上といわれている。例えば、住血吸虫やギョウチュウなどである。左の写真は回虫の一種だ。



## 館長さんからの言葉

町田館長さんのインタビューの中で中高生に向けたメッセージを頂いた。

『何にでも興味を持つといい。運動でも、勉強でも。そして、いつか、その中から何か一つ、将来やりたいことを決めてみる。そのことをやってみればいつかぎつと面白くなるかも。自分の好きなことを仕事にできれば楽しい。』



目黒寄生虫館  
目黒区下目黒四-1-1  
<http://kiseichu.org/default.aspx>